

## 令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名  
和歌山県

行事名称	「重要文化財白岩丹生神社本殿」火災想定訓練
実施期間・日時	令和8年1月25日（日）9：30～10：30
実施場所	重要文化財白岩丹生神社本殿（和歌山県有田郡有田川町小川）
主催者	有田川町吉備金屋消防署

## ■実施内容

## 訓練の想定

神社本宅から出火炎上して火災が発生し、重要文化財の白岩丹生神社本殿に延焼する恐れがあると想定。

## 訓練の内容

神社関係者火災発見、消火器による初期消火、119番通報、放水銃による放水訓練、消防署・消防団による放水訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

地元消防団（40名）：現場確認・情報収集・放水  
吉備金屋消防署（13名）：指揮本部設置・現場指揮・放水・指導  
神社関係者（3名）：初期消火・通報訓練・放水訓練  
教育委員会（1名）：訓練状況確認、課題把握

## 特に工夫した点

現場指揮所を開設し、現場状況把握と指揮系統を明確化した。  
延焼防止のための、ウォーターカーテンによる訓練を実施した。

## 問題点・課題

神社周辺は道路が狭小であるため、地元消防団による消火体制を強化することが課題である。

## その他

文化財防火訓練は、消防署と地元消防団、地元関係者の連携を再確認し、文化財保護意識の高揚を図る機会となっており、今後とも継続して実施することが必要である。

## 訓練風景

